

子ども一人ひとりが生き生きと学ぶ授業を目指して ～質の高い学びをつくり、誰一人取り残さない教育の推進～

坂戸市教育委員会 令和6年4月1日

【坂戸市が目指す児童生徒の姿】(第7次坂戸市総合計画より)

自ら道を切り拓き、社会で自立する「生きる力」を身に付けた児童生徒

日々の授業を充実させ、2つの柱で児童生徒の育成を目指します！

心の教育



学びづくり

【心がつながり、安心して学べる授業づくり】

- ・聴き合い、学び合う関係
- ・認めて、褒めて、伸ばす教師の指導・支援

【「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり】

- ・子どもが興味関心をもち、他者と協働・対話して学び合う授業

【認め合い支え合う集団の育成】

- ・お互いの考え方や意見を尊重し合える集団
- ・安心して生活できる居心地の良い学級

【「生きる力」の育成】

- ・知識・理解、課題発見・解決力や思考力・判断力・表現力（行動含む）
- ・他者と協働する力

不登校やいじめなどの未然防止

児童生徒の確かな学力の向上

《大切にしてほしいこと》

(1) 授業づくり

①深い教材研究

- ・教材について深く学ぶ（教科の専門性）

②「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習づくり

- ・課題の工夫（学びたくなる・学ぶ価値のある課題）

- ・目的に応じた学習形態の工夫（個人、ペア、グループ、全体等）

③教師の役割の明確化

- ・子どもの学ぶ姿をよく見取る（全体、個（気になる子））

- ・子ども主体の学習づくり

※教師はつなぎ役

→「話すこと」より「聞くこと」を大切にする

→「聞く」→「繋ぐ（子ども同士、子どもと教材）」→「戻す」ことで学びを深める

(2) 教師の同僚性

- ・経験や立場を超えて教師同士相談できる関係を築く（授業づくり、学級経営等）

- ・授業を見合い、学び合うことでお互いを高め合う

《学びの機会》

- ・学びづくり研修会

- ・各種年次経験者授業研究会

- ・学校指導訪問

- ・校内授業研究会 など

